

2011-12年度テーマ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長：カルヤン・パネルジー

第2570地区ガバナー：立原 雅夫

会長：鯨井 邦男

会長エレクト：堀越 真

幹事：庄内 邦雄

副幹事：浅井 純次

SAA：橋本 篤史

TEL：048-525-7907 FAX：048-526-2471

URL：http:// www.kuma-west-rc.com/ E-mail：post@kuma-west-rc.com

No.27 第1667回 例会 (H24.2.23)

2011-2012年度 国際ロータリー第2570地区

## Intercity Meeting

日時 2012年 2月23日(木)

会場 ベルヴィアイトピア

テーマ **歴史を訪ねて未来を築こう**





式典

13 : 30	登録・受付		
	司 会	I M 実行委員	原 功
14 : 00	点 鐘	第 5 グループガバナー補佐	鈴木 秀憲
	開会の言葉	I M 副実行委員長	山崎 研
	[国家]ならびに[奉仕の理想]斉唱		
	物故会員に黙祷	吹上ロータリークラブ幹事	丸岡 章二
	来賓紹介	ガバナー補佐	鈴木 秀憲
	参加クラブ紹介		
	実行委員長挨拶	I M 実行委員長	馬場 亟男
	第 5 グループガバナー補佐挨拶	ガバナー補佐	鈴木 秀憲
	来賓挨拶	第 2570 地区 ガバナー	立原 雅夫様
		鴻巣市長	原口 和久様
		ガバナー補佐	野中 弘之様
	R 財団/米山/青少年交換学生紹介		
	直前ガバナー補佐へ記念品・花束	ガバナー補佐	鈴木 秀憲
	次期ガバナー補佐紹介		
	次期ガバナー補佐挨拶	熊谷ロータリークラブ	前嶋 修身様
	次年度地区大会のご案内	地区大会実行委員長 吹上 RC	上岡 常治
	閉会の言葉	I M 実行委員	鳥羽千太郎
15 : 00	点 鐘	ガバナー補佐	鈴木 秀憲

記念講演

15 : 10	開会講師紹介	I M 副実行委員長	持田日出雄
	演題「戦国武将と北埼玉」	行田市郷土博物館学芸員	鈴木紀三雄様
	謝 辞	ガバナー補佐	鈴木 秀憲
16 : 20	閉会及び諸事お知らせ	I M 副実行委員長	持田日出雄

懇親会

16 : 30	司 会	I M 副実行委員長	神庭 治
	開宴の言葉	I M 副実行委員長	坪山 壽郎
	挨 拶	ガバナー補佐	鈴木 秀憲
	乾 杯	行田ロータリー会長	武田 和則様
	アトラクション	ハーモニカ演奏	松田 幸一、他
	ロータリーソング		
	「手に手つないで」	———— 全員で輪になって	————
18 : 00	閉宴の言葉 (締め)	I M 実行委員	中西 忠夫

## 講演 『 戦国武将と北埼玉 』

熊谷から行田、羽生、加須一帯は利根川や荒川から運ばれた土砂により形成された広大な沖積平野です。

ここに平安時代後期から武蔵武士とよばれる集団が登場しました。

そのなかのひとつ成田氏は熊谷から行田にかけて成田郷を本貫地とし、鎌倉幕府の御家人として活躍しました。

室町時代も成田氏は武蔵国の数ある小領主（国衆）の一つとして、他の領主と連携するなどの活動をみせていました。やがて、室町幕府が関東地方を治めるために設置した鎌倉府の長官を務めていた鎌倉公方足利氏と、それを補佐する関東管領上杉氏の間で大きな戦乱が勃発しました。享徳の乱とよばれるこの戦いによって、関東地方は130年以上にわたる戦国時代へと突入していきました。鎌倉公方足利氏は古河に拠点を移して古河公方とよばれ、関東の東側を勢力下に納め、いっぽう上杉氏は一族のなかで主流だった山内上杉氏と扇谷上杉氏が関東の西側を拠点としました。このような戦乱の世の中を背景にして、関東地方では戦国時代に多くの城郭が作られました。忍城や騎西城、羽生城もその中に含まれます。忍城は築城した成田氏が代々城主を務めました。騎西城は小田氏が城主となりましたが、成田氏の一族を婿養子にむかえたことにより、共同戦線を張ることになりました。羽生城の築城は他の二城よりかなり後のこととされますが、成田氏や木戸氏が城主を努めました。

関東地方の戦乱のなかで、小田原の北条氏が武蔵国にその勢力を伸ばしてきたため、忍城主成田氏もその配下となりました。しかし、永禄3年、越後の上杉謙信が関東地方に侵攻し、これに甲斐の武田信玄を加えた三つの巴の争乱が展開しました。成田氏は当初上杉謙信に従いますが、再び北条方に戻ります。これに怒った謙信は忍城主成田長泰の弟小田朝興が城主である騎西城を攻めて落城させたことにより、成田氏は再び上杉方になりました。いっぽう羽生城主広田直繁や弟木戸忠朝を遣わして忍城の押さえとしました。

上杉方について成田氏ですが、再び北条方となり木戸氏との間で対立が続いていました。上杉と北条は一度和睦と同盟を結びますが、北条氏康の死により破綻して、再び対立が続いていきます。やがて北条方の攻勢が強まり、天正2年に関宿城が落城したことにより、謙信は武蔵国から撤退します。羽生城も落城し、城主木戸忠朝も討死したとされます。以降羽生城は成田氏の配下となりました。成田氏の勢力は羽生から熊谷、本庄にまで及び、北武蔵を代表する領主として大きく成長し、天正18年の忍城攻防戦をむかえました。

鈴木紀三雄（すずききみお）

1667年生

1992年より行田市郷土博物館学芸員として勤務

専攻 日本近世史

